



Race Report

1 April, 2012

A SPEED & 吉本大樹、 triple a vantage GT2で最後のレースは11位

ついに開幕を迎えた2012年のスーパーGTシリーズ。その開幕戦の舞台は昨年triple a vantage GT2が優勝を果たした岡山国際サーキット。しかしtriple a vantage GT2は開幕前のテストでマシンのプロペラシャフトが破損した為、満足なテストを出来る事無くこの開幕戦を迎える事となっていた。それでもチームは「vantage GT2での参戦はこれが最後。何としても結果を残したい」との思いを胸に、前日に届いたパーツを組み込み夜を徹してマシンを完成させた。

今シーズン最初のセッションとなる公式練習は、未明から降り続く雨のなか午前9時にスタート。2時間のセッションのうち最初の1時間40分は両クラスの混走、10時40分から10分間GT300クラスの占有時間となる。夜を徹した作業で何とかこのセッションへの出走に間に合ったtriple a vantage GT2は、ウェットコンディションからセッション終了に近づくにつれ路面が乾いていくという難しいコンディションとなったこのセッションでまずは13番手タイムをマーク。予報では晴れになるとされている午後の公式予選に向け、齒の立たないGT3勢を相手にまずまずの内容でセッションを終了した。

そして迎えた午後の公式予選。眩しい日差しがサーキットに降り注ぎ、ほぼドライに転じた午後2時30分、ノックアウト方式の公式予選が始まった。まず最初の15分間はGT300の占有時間帯となる。このQ1セッションでtriple a vantage GT2のステアリングを握ったのは吉本大樹。その吉本はセッションも半ばに差し掛かったところで雨が空から落ちてくる展開となったこのセッションで落ち着いたアタックを敢行。きっちりとQ2進出を決める12番手タイムをマークし、続くQ2セッションを星野選手に託す事に。ところがQ1セッション終了直後から天候が目まぐるしく変化し始める。各陣営がこのいきなりの天候変化に翻弄される中、Q2セッションを担当した星野選手は迷うことなくドライタイヤでのアタックを決意。これが吉と出たtriple a vantage GT2は、最終的にQ3進出はならなかったものの、決勝11番手グリッドを確保。「11位という予選ポジションは現在の状況を考えると全然悪くない。完全なドライか完全なウェットだったら、さらに星野選手がスリックでQ2に行く決断をしていなければ、ポジションはもう少し下の方だったと思います(吉本大樹)」という状況ながら、ポイント獲得(10位以内)が目の前にあるグリッドを獲得し予選を終了する事となった。

■決勝 口天候：晴れ | コース：ドライ | 気温/路面温度：10度/15度

風は冷たいものの晴れ間が広がり、雨の心配の去った日曜の岡山国際サーキット。今季開幕戦は気温10度、路面温度15度というドライコンディションで午後2時にローリングがスタート、1周の後、82周という長丁場の戦いの火ぶたが切られて落とされた。

vantage GT2でのレースは今回が最後となるA SPEEDは第2戦からGT3規格の「vantage GT3」を投入する事になるが、その前に2010年のデビュー戦から使い続けてきたvantage GT2での有終の美を何としても飾りたいところ。そんな思いも秘めてのスタートを担当したのは星野選手。その星野選手は上位を占めるGT3勢と若干の差はつけられたものの、落ち着いてマシンのパフォーマンスを引き出し続け、ポイント獲得の可能性を残したまま後半ポイントの吉本大樹にバトンタッチ。ここから吉本の追い上げに期待を託していく。

ところがその吉本がコースに入った直後にマシントラブルが発生。「昨日から少し感じていた足周りの違和感が一気に悪化。ダンパーかピロリ回りかもしれないけど、なんかぐにょぐにょしてとにかくまっすぐ走れない状態だった」と、ペースを上げる事が出来なくなってしまう。それでも吉本はマシンの現状を冷静に判断、燃料が軽くなるにつれ「コツが掴めてきた」とそのペースを徐々にアップ。今回履いたヨコハマタイヤの「もち」にも助けられ徐々に9位、10位との差を詰めていく。しかし足周りのトラブル以外にも、エンジンライフの限界を超えていた事、シフトの度にギアが悲鳴を上げ始めた事等、最後のレースを迎えたマシンは満身創痍の状態となっていた。

結局レースはそのままのポジションでチェッカーを迎える事となり、triple a vantage GT2は11位で開幕戦をフィニッシュ。マシンを降りた吉本大樹は、「エンジンライフはとうの昔に終わっていたのでストレートはやっぱり遅かったし、最後の3周位はギアもギリギリ。シフトの度に振動が大きくて最後までもつかどうかの勝負でした。なんとかポジションを上げてポイントを獲得したくて10位のマシンにしかけ続けたんですが届きませんでした…」と悔しさを滲ませたものの、「でも、最後の追い上げはVantage GT2が絞り出してくれた奇跡の力だと思う。本当に全てを使い切った。よく完走できたと思う」と最後の戦いを終えたマシンを労うコメントを続け、Vantage GT3で戦う事になる第2戦からの巻き返しを期し開幕戦を終える事となった。

12' SUPER GT SERIES Round_1 / OKAYAMA

2012.3.31 (Sta) Free Practice & Qualify

2012.4.1 (Sun) Final

Text : www.hiroki-yoshimoto.com

【Aspeed Official Site】 <http://www.aspeed.co.jp/>

【SUPER GT SERIES Official Site】 <http://www.supergt.net/jp/>

【吉本大樹 Official Site】 <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

PERSONAL SPONSORS

PARTNERS

HY Management Co., Ltd.
info@hy-management.com
www.hiroki-yoshimoto.com



Race Report

1 April, 2012

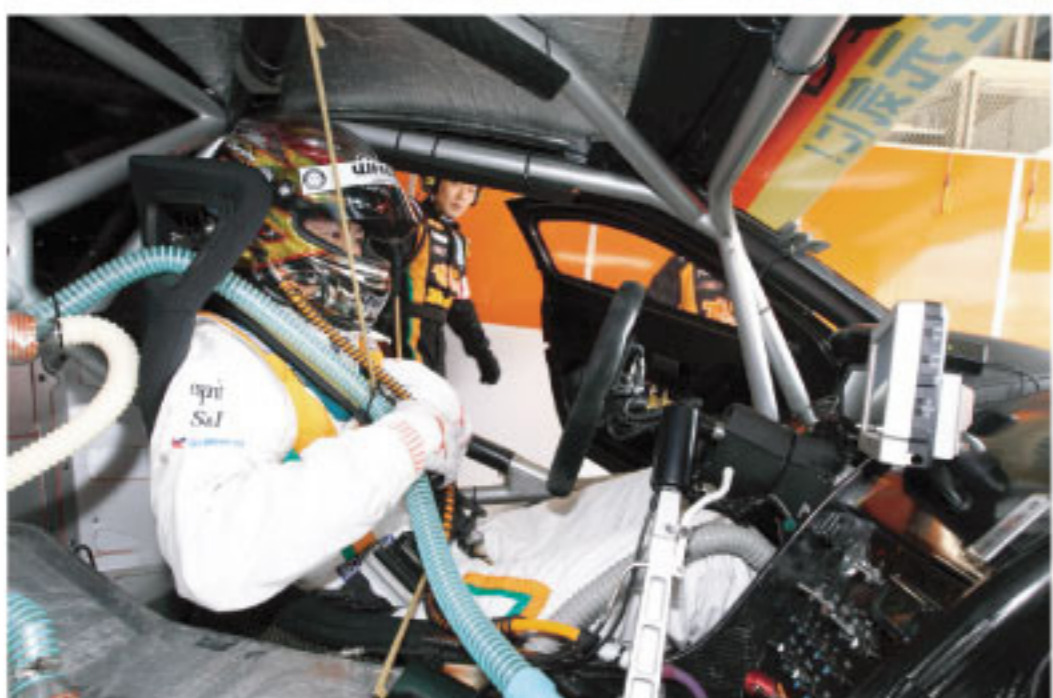
吉本大樹コメント

恐らくはこのVantage GT2で戦う最後のレース。2012年の開幕戦は昨年程の結果を出せない事は理解していましたが、ポイントは取りたかったですね。ただ、状況や開幕寸前のドタバタ劇を考えれば上出来です。実は遅れが生じていてそのデビューが遅れる可能性のあったGT3も次の富士から確実に導入できそうですし、とにかく楽しみです。

ここからのレースは絶対に取りこぼしは許されない。次から導入されるVantage GT3はFIAの定めたBOPの調整で最初から100kgのウェイトを乗せられているし、正直なところVantage GT3が元々どれだけのパフォーマンスを秘めているのかも判らない。けど、我々はシーズン中に一回勝つだけで満足する訳ではありません。シリーズを見据えて戦っています。だから絶対取りこぼさないし、開幕戦でノーポイントになった分、GT3導入の初戦である富士は大暴れしたいと思います。応援の程宜しくお願いします。



PHOTO



PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED